

はじめに

まず驚いたことが、この本の執筆のお話をいただいたときのテーマです。

女性の起業、はたまた輝いているサロネーゼ（自宅でサロン〈教室〉を経営する女性）の方の経験談をと言われ、自分が起業している自覚もなく、「まったくその範疇外ですが、何か間違っていないませんか？」と聞き返したほどです。

昨今、自宅で料理教室やフラワーアレンジメントなどを主宰する方が増え、サロネーゼなる言葉がきらびやかにもてはやされています。

検索をするとたくさん教室が出てきて、どこにするか悩ましいところです。

私がかれこれ20年前に、自宅で料理教室を始めました。

ただ料理好きな人をお招きして、楽しい時間を過ごすのが好きな主婦でした。

最初はお友だちから、そしてご紹介。そこから口コミで少しずつ輪が広がっていき、現在は100人を超える方が会員として登録してくださっています。

教室を始めた頃からの方に加え、お子様と親子2代で参加されている方も増えています。

とてもありがたいことと感謝しています。

自分では仕事というつもりで料理教室をしている意識がなく、ましてや起業ということとはほど遠いと思っていましたので、起業という内容では話が進まないのですが、20年続けてこられたのはどうしてか、また私の料理教室のやり方、料理に対する考え方、エピソード、失敗談（数知れずありますが……）、おもてなしというほどではありませんが、お招きするときの心得など、多少でも参考になればと話をお受けしました。

これから教室を始めたいと思っっている方、お客様を自宅にお招きしたいけれどどうしたらいいかしらと考えている方、この本が少しでもお役に立てば幸いです。